

7. 休息と回復

1. 「わたしのところに来なさい。苦しんで、重荷を負っている、すべての人々よ。わたしがあなたに心からの休みを与えます。」（英語聖書・新欽定訳、マタイ 11:8。）：

「心からの休み、休息」：動詞の（アナパウオー）は、心から休息させる、（苦痛・感情）を、沈静させる・やわらげる、さわやかにして再び元気づける、です。¹

（あなたを）快適にさせる（アナパウオー）は、不必要にいやな・わがままな・（ことを）休養/骨休め/くつろぎ/緩めること、です。²

2. 聖書のなかで、心からの休息についての考え方は、マタイ 11:28-30 において、その理解の深さで最大をあらわします。主イエスがかれの弟子たちに呼びかけています。ほんとうの・心からの休息は、イエスによって啓示された、父なる神のなかで、平和、満足、安心を見いだすこととなります。³

3. 私たち人間の、人生の選択は、いつでもどこでも同じです。選択肢は、二つ。富か、それとも、聖書の神か。（マタ 6:24、ルカ 16:13）

この世で、不法な生き方をすすめる、女性の勧告（箴 7章）。それとも、正しい生き方をすすめる、女性の勧告（箴 8章）：

天地創造のとき、創造者の父なる神とともに働いた知恵の人（受肉前のキリスト）は、私たち聖書を喜んで読む人々に勧めます。私たちの・キリストとともに歩む人生では、知恵が私たちを先導して（8:1-13）、私たちを成功させます（8:14-21）。

4. 主の導き。（出 33:1-23.）：モーセが、主が神の民、イスラエルとともに歩んでくださる、ことを求めます。それも大胆にも、民の罪：金の子牛の罪のために、わたしは民とともに歩まないと言っておられるにもかかわらずに、です。

モーセが信仰によって、祈ります。：[新共同訳] 出 33:13 「お願いです。もしあなたがわたしに御好意を示してくださるのでしたら、どうか今、あなたの道をお示してください。そうすれば、わたしはどのようにして、あなたがわたしに御好意を示してくださるか知りうるでしょう。どうか、この国民があなたの民であることも目にお留めください。」 33:14 主が、「わたしが自ら同行し、あなたに安息を与えよう」と言われると、・・・。

英語聖書・新欽定訳では、出 33:14 は、つぎのとおりです。：

そして主が言われた。「わたしの存在・臨在が、あなたとともに行く。そしてわたしが、あなたに、心からの休息を与える。」

5. 私たち人間は、聖書の神の御前においてのみ、ほんとうに憩うことができます。：

「帰れ、おお、私のたましいよ。あなたの休みに。というのは、主が、あなたを、ゆたかに優遇される。」（ヘブライ語聖書 詩 116:7.）

霊的な休息の、ただ一つの真の場所は、神です。⁴

6. [口語訳] ローマ 8:38 わたしは確信する。死も生も、・・・神の愛から、わたしたちを引き離すことはできない・・・。」：

[新共同訳] 詩 16:8 わたしは絶えず主に相對しています。主は右にいまし、わたしは揺らぐことはありません。16:9 わたしの心は喜び、魂は躍ります。からだは安心して憩います。

¹ 英文・ギリシア語スタディ聖書（マウンス）795a_6.

² 英文・新ストロングの拡大・聖書の言葉辞典 946b_6.

³ 英文・新国際新約聖書神学辞典 3:256-257.

⁴ 英文・旧約聖書の神学言葉の本 2:562b_3.